

第2回林業分科会における主な意見について

参考

No.	意見・要望等
1	意向調査の結果を踏まえ、適切な森林整備が実施できる仕組みについて検討と記載されているが、地域によっては、集約化に向けて次の1歩に進めることができるのではないかと。1歩踏み込んだ形で記載しないのか。
2	森林の有する公益的機能の発揮について、具体的な評価の部分ないがどう考えるのか。そういう指標がなければ、指標の検討も必要ではないか。
3	広葉樹林化については、専門家の意見を聞きながらと書いてあるが、市民の体験的なレクリエーション的なものにとどまっていると思う。もう一歩具体的に記載しても良いのでは。 森づくりに関しても、国際的な対応を検討する必要があるのではないかと。
4	林業機械リースレンタル経費等の助成について記載されているが、5年間の計画であり限定的に記載するのではなく柔軟性を持たせてもいいのでは。 また、林業機械についても今の施業にあった機器であるのか等も重要な視点だと思う。
5	森林の技能労働者の確保の問題は総合計画で述べておく必要があるのでは。必要であれば、どういう支援をするのかも記載しておく必要があるのではないかと。
6	指標の、市公共施設整備における地域産材使用量が小さ過ぎる。 民間、公共施設含めて丸太レベルで、今福岡市が生産、製品が何立方できるのかなど記載が必要ではないかと。
7	5年間の計画だが、市として山をこれから10年20年30年、50年後、どうしていきたいかの議論が必要ではないかと。 もう少し大きな視点で、それをやるには、林業従事者等の育成が必要で、そのために補助を出そう等、大きなビジョンから逆算していく必要があると思う。
8	木材の価格が安いと森林所有者に還元できないというのが事実。 また、林業従事者の給料が安いと優秀な人材を集めるのが困難である。
9	木材の需要が多くなっていった際、工期の中で集められるか等、山側や、発注側のそれぞれの状況を理解することが必要。 熊本県・市は独自の行政の特例がある。福岡もそういうところが整備されないと難しい。
10	「伐って使って植えて育てる」の「使って」部分を頑張りたい。 目標値として小学校の木質化、木造の施設数とすれば、木材の需要があることを示せると思うので検討していただきたい。

No.	意見・要望等
11	「市民が森を身近に感じる環境づくり」とあるが、森側だけでなく、街中で森を感じるような場所があるといいと思う。木に触れることで木や森が、特別じゃなくて身近なものだという環境をつくれるといいのではないか。
12	指標の部分で、混交林等をふやしていく中でその指標がないのはバランスが悪く感じた。 林業サイクルの話だけでなく、防災などの指標を検討してはどうか。
13	「快適な暮らしを守る森づくり」の指標で長期間手入れがされていない森林の再生した面積はあるが、長期間手入れがなされていない森林の面積も示せるとわかりやすいのではないか。
14	施策2のイベント等への参加人数の指標で現状値が351人というのは寂しい。何回開催したかを示すのもいいのでは。
15	基本方針2の施策2の林業者の経営基盤の強化の記載で、「※間伐は主伐換算」とされているがわかりにくいと思う。
16	13ページの冒頭に油山福岡の話が来ているので並びを再検討いただいてはどうか。 3段落目の「森林と都市がコンパクトに調和し…」といういい言葉があるので、そういうものを最初に書く等並びを検討されたいのではないかと感じた。
17	福岡市ならではの特徴を推進していくべきかなと思う。福岡市が日本のアーバンフォレストリーのモデル都市になるぐらいの特徴をさらに強調して書いていただけたらと思う。
18	何人かの委員の方からご指摘があったように、KPIをもう少し増やしたほうが良いのでは。かなり今回、指標項目が少ない感じがする。 定量化できるものは盛り込んでできるだけ多くの指標があってもいいのではないか。
19	主伐と間伐の意味は全く異なるので、主伐と間伐を分けて指標を記載してはどうか。
20	前回の分科会の意見を反映し、本計画の全体像の花粉症対策で、「スギ・ヒノキ人工林の伐採・植替え等」としていただいたが、「等」ではなく、「広葉樹林化」を並列で記載していただけると、これまでと大きく変わった意思表示になるのでいいのでは。再度検討して欲しい。
22	市民が積極的に山に携わっていく、山や里山を身近に感じてもらう施策を考えていただければと思う。それにより森林行政に対して、市民が協力的な立場になるのではないか。
23	節が多い間伐材も上手に花壇や公園施設等に使っていけないものか。